



2021 Fall

ライスボールセミナー

“大学ではどんな研究をしているの？”

ライスボールセミナーは、お昼休みに若手研究者による研究発表を聞き自由にディスカッションを楽しめるオンラインセミナーです。
学生でも教職員でも気軽に参加してみてくださいね♪

【時 間】木曜日 12:20~12:50

【参加費】無料 事前申込制（締切は各回実施2日前17:00）

10.28

朝鮮通信使と近世日本人との交流



<https://bit.ly/3nkTNRK>

11.11

哲学科はいかに生まれたか？ philosophyから？



<https://bit.ly/3E6W3BI>

11.25

立命館大学大学院キャリアパス推進室主催
2021年度リサーチプロポーザルコンテスト
受賞者による研究発表



<https://bit.ly/3hfKbni>

12.9

ゲームから社会を考えるー韓国におけるシリアスゲーム



<https://bit.ly/2X6bd9s>

12.16

“モビリティ”の今とこれから



<https://bit.ly/3E4KafJ>



【共 催】 衣笠総合研究機構 立命館グローバル・イノベーション研究機構(R-GIRO)
【お問合せ】 衣笠リサーチオフィス TEL : 075-465-8224



https://twitter.com/Rits_ResearchPR



<https://www.facebook.com/riceballseminar>

10.28



朝鮮通信使と近世日本人との交流

松本 智也 文学部 初任研究員

■研究内容

近世日朝関係は朝鮮通信使という外交使節を基軸として平和的關係が維持されてきました。朝鮮通信使と日本人とのあいだでは様々な交流が行われており、私はとりわけ学問・思想をめぐる交流を中心に研究しています。

11.11



哲学科はいかに生まれたか？ philosophyから？

(ほ じひゃん)

許 智香 衣笠総合研究機構 助教

■研究内容

哲学も近代以後新たに作られた学知です。哲学科は1877年東京大学で初めてできましたが、それがphilosophyの訳語でしょうか。であれば誰が当てた名前でしょうか。東京大学以前の歴史からその由来を追ってみましょう。

11.25

2021年度リサーチプロポーザルコンテスト受賞者による研究発表

本コンテストは、大学院生を対象に自身の研究のアイデアを、いかに研究計画書に魅力的に記載できるかを競うコンテストです。

当日は受賞者の紹介と文系・理系分野の代表者 1 名ずつから発表頂く予定です。

12. 9



ゲームから社会を考えるー韓国におけるシリアスゲーム

(しん じゅひょん)

SHIN Juhung 先端総合学術研究科 初任研究員

■研究内容

近年世界的に広がったシリアスゲームは、教育、医療等の分野から政治キャンペーン、社会運動、観光等幅広い分野で活用されています。ゲームに影響を与えている社会背景や文化的文脈も検討する事で、その意義や可能性を明らかにできると考え研究を進めています。

12.16



“モビリティ”の今とこれから

野村 実 衣笠総合研究機構 専門研究員

■研究内容

地方部では、自家用車を持たない住民や免許返納後の高齢者に対する“モビリティ”の確保が課題となっています。私の研究では、モビリティに関連する地域課題の実態解明と、多様な主体との対話を通じて具体的な解決策を導き出すことを試みています。